

令和7年度東大阪市中小企業振興会議 第5回商業部会

次第

○日 時：令和7年11月19日（水）18:00～20:00

○場 所：東大阪市役所本庁舎 18階大会議室

【議題】

1. 商業と観光・スポーツの連携に関する提言部分イメージについて
2. 商業分野と観光・スポーツ分野で連携できそうな事項について
3. 協議・議論（自由意見）

<配布資料>

資料1

商業部会委員名簿・中小企業振興会議委員名簿

資料2

令和7年度第5回商業部会資料

東大阪市中小企業振興会議委員
商業部会委員名簿

No.		委員氏名	役 職 等
1	部会長	加藤 司	大阪商業大学総合経営学部教授
2	部会員	茨木 延夫	東大阪市小売商業団体連合会会長
3	部会員	木村 亘	株式会社日本政策金融公庫支店長
4	部会員	白山 登茂和	ふれんちん店主(花園本町商店会)
5	部会員	中澄 史雄	大和屋店主(石切参道商店街振興組合)
6	部会員	西田 祥一	酒のにしだ店主(岩田北本通り商店会)
7	部会員	和合 健一	有限会社東阪社代表取締役(瓢箪山中央商店街振興組合)
8	観光分野	大西 由起子	東大阪市観光協会会長
9	スポーツ分野	富山 浩三	大阪体育大学スポーツ科学部教授

※部会員五十音順、敬称略

令和7年度 東大阪市中小企業振興会議 第5回商業部会資料



HIGASHI-OSAKA
SDGs GEAR



Japan Corporate Games™ 2025

Higashi-Osaka 11 October 2025

令和7年11月19日

東 大 阪 市

都市魅力産業スポーツ部 商業課



1. 商業と観光・スポーツの連携に関する提言部分イメージ
2. 商業分野と観光・スポーツ分野で連携できそうな事項(議論・協議)
3. その他(自由意見)





1 商業と観光・スポーツの連携に関する提言部分イメージ

提言項目：商業分野と観光分野・スポーツ分野の連携を促進すること

東大阪市では、国全体の人口減少および高齢化の波に直面しており、その結果、地域住民の購買力の低下を引き起こします。こうした状況を踏まえ、市外からの来訪者を戦略的に増加させ、市内での消費を促進することは、地域経済の持続的発展に欠かせない重要な方策であります。市外からの来訪者の増加は単に売上の増加にとどまらず、地域の雇用創出、商店街の活性化、さらには地域ブランドの向上といった多面的な効果をもたらします。加えて、多様な分野における交流促進により、地域コミュニティの結束力強化や文化的価値の醸成にも寄与するものとなります。

また、東大阪市は、高校ラグビーの聖地として国内外に知られる花園ラグビー場を有し、複数のプロスポーツクラブが根付いていることにより、スポーツ関連の来訪者が多数訪れています。これに伴うインフラ整備や地域サービスの拡充は、スポーツ観戦のみならず、滞在型観光や地域交流の場としても機能し得るため、地域全体の魅力向上に大きく貢献しております。

さらに、観光振興においては、一般社団法人東大阪ツーリズム機構の設立により、新たな観光資源の開発やスポーツツーリズム、地域連携の強化が積極的に推進されております。これらの取り組みは、市外からの来訪者の増加のみならず、地域経済の多角的発展を促進し、地域の魅力を内外に発信する基盤づくりの役割を果たしております。

商業、スポーツ、観光の三分野が有機的に連携を深めることにより、相乗効果はさらに拡大し、地域経済の循環が加速するとともに、新たなビジネスチャンスや雇用機会が創出されます。このような好循環の確立に向け、関係者が一丸となって取り組むことが、市内経済の活性化だけでなく、市域全体を盛り上げ、ひいては持続可能な地域社会の実現に向けて必要であると考えております。何卒、今後も三分野の積極的かつ戦略的な展開にご尽力いただくように提言します。

(期待される効果)

- ・ 地域経済の活性化 ・ 交流人口の増加 ・ 滞在時間 ・ 消費額の増加 ・ 地域ブランドの向上
- ・ 地域コミュニティの活性化 ・ 新たな市場 ・ 顧客の創出 ◎市域全体のにぎわい創出



1 商業と観光・スポーツの連携に関する提言イメージ(第4回意見から)

部会意見	事業の方向	効果
<ul style="list-style-type: none"> ・試合観戦者に市内店舗で使える割引クーポン配布 ・市外からの観光客を誘引するクーポン券を配布 	スポーツ×観光×商業連携パッケージの創設	<ul style="list-style-type: none"> ・市外からの誘客 ・スポーツ観戦から市内商業・観光地へ市内周遊 ・滞在時間と消費額の増加を促進し、地域経済の活性化につながる
<ul style="list-style-type: none"> ・地元のスポーツ大会へ副賞として商店街の商品券を配布 	地元商店街と連携したスポーツ大会副賞の商品券制度導入	地元商店街の利用を促進し、地域の購買力回復に寄与。スポーツイベント参加者の地元への親近感が醸成されコミュニティ活性化。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物とスポーツを絡めてイベント企画 ・花園ラグビー場での合宿利用促進や利用者への市内弁当等の提供 	スポーツイベント連動型マルシェ	地元産品のブランド力向上と新たな顧客開拓に繋がるほか、スポーツ観光客の地域消費拡大と地域の一体感醸成が期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・観光まち歩きツアーに商店街での飲食をセット 	まち歩きツアーとの連動	商店街での飲食・ショッピングと観光をセットにして地域の魅力を体感してもらい、観光消費の増加と地域ブランディングを推進。
<ul style="list-style-type: none"> ・一社)東大阪ツーリズム機構による内外向けの連携強化 ・ラグビールールと地元商店がコラボしたトレーディングカードの作成 	商業・観光・スポーツ情報の統合発信	スポーツイベントや観光情報と連動した商店街のプロモーション等で誘客



2 各分野との連携できそうな事項(第4回商業部会資料再掲)

観光分野が商業分野で連携できそうな事項

市内消費増加にかかる施策研究

商業集積地ごとの人流研究(市内外来訪)

商店街インバウンド誘致企画(小売分野)

小売分野での地域商品の開発

体験型観光の商品開発

ザ・コーポレートゲームズジャパン in 東大阪の開催に伴う商店街への誘導

観光分野がスポーツ分野で連携できそうな事項

ザ・コーポレートゲームズジャパン in 東大阪の開催に伴い、健康増進を目指した生涯スポーツの推進

スポーツ分野が商業と連携できそうな事項

全国高等学校ラグビーフットボール大会に出展。

スポーツ分野が観光と連携できそうな事項

上田市出展(KOBELCO CUP)でトライくんグッズなどの販売。



3. 協議・議論・自由意見等

【MEMO】